

## 区民意見反映制度による区民の意見と区の考え方

番号	意見内容	考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>…既に記載があるもの</li> <li>…趣旨を計画に反映するもの</li> <li>…趣旨について今後検討していくもの</li> <li>…その他</li> </ul>
第1章 計画の基本的考え方		
1	区民からの意見をどれだけ取り上げたか又は、なぜ取り上げないか分かりやすく示して下さい。	区民の方からいただいたご意見につきましては、区の回答とともに区のホームページ等で公表していきます。
2	区がはっきりと長期ビジョンを示して、安心して子育てができるまち、つまり、練馬に住めば安心だと若者が思うような「次世代を担う子どもたちの育成支援策」はこの計画の通りだと宣言すべきです。	本計画は基本的に国の策定指針、策定の手引きを基に策定を進めています。また、練馬区基本構想、練馬区長期計画の考え方と整合性を図っています。
3	納得のいくプランにするには、一つには、今後の進め方の中に、「PLAN, DO, SEE」を組み込み、補正しながら正解に近づく方法であると約束すべきです。その方策をこの計画に盛り込む必要があります。	計画を着実に推進していくために「計画・目標＝施策・事業の立案と指標・目標値の設定」(PLAN) 「実施＝予算編成・事業執行」(Do) 「成果の点検・評価」(CHECK) 「改革・改善」(ACTION)という一連のサイクルにより、計画の目標の実現に向けた取組を推進します。「成果の点検・評価」については、行政評価において毎年行う事務事業評価、隔年で行う施策評価と本計画独自の評価を連動させて把握し、公表していきます。また、これらの結果については、公募区民や学識経験者による練馬区次世代育成支援協議会から意見をいただき、施策に関する提言や提案を行っていただきます。
4	ワークライフバランスをもちだす以前に日本人の働き方が如何に異常であるかを認識しなければ、この問題の根本的解決はできないだろう。こうした問題は、公のリーダーシップによって啓蒙・改善させるべきであろう。	第二次男女共同参画計画に基づき、職場優先の意識や固定的な性別役割分担意識等を解消するとともに、働き方の見直しを進めるために区民、区内の事業所、区内で働く人等に広く呼びかけを行います。また、国、都、近隣区等と啓発行事の情報提供を行うことなどにより連携し、仕事と家庭の両立を支援していきます。
5	前期、後期、次期という時間軸で行動計画を分けて、しかも見直しの時期とその内容を明確に示すことが必要であろう。さらには、ビジョンの達成度・目標によりさらなる時間が必要ないのか見直すための項目を充実させることも必要である。	計画の見直しにつきましては、社会やニーズの状況を踏まえ、毎年行っています。素案には前期の行動計画(平成17年度～平成21年度)での主な取組を掲載していますが、後期の行動計画(平成22年度～26年度)については、アウトカム(成果)評価の指標を盛り込むことを考えています。

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
6	<p>どうして子育ての責任者である、親またはそれに類する者についてなにも語らないのですか。現在の子ども問題の多くは親の問題と言っても言い過ぎではないと思うのです。家庭の責任、社会の責任、学校の責任などはっきりと区別して行動計画を作成すべきです。</p>	<p>基本目標(1)に「子育てには、父親、母親その他の保護者が第一義的に責任を負います。しかし……」としており、まず、子育てにおける責任を親が自覚することが重要であると考えます。しかし、子育てには不安や負担が伴うものであり、親が孤立しないように、家庭の「育てる力」を応援するのが、行政や地域の役割であると考えます。</p> <p>区では子ども家庭支援センターなどで子育てに関する相談に応じます。また、児童虐待等の重大問題に対応するため同センターの機能の集中化を図ります。また、子育てのノウハウを学びあうための「子育て支援啓発講座」を実施していきます。</p>
7	<p>素案には「前期計画」の総括が書かれていません</p> <p>「次世代育成支援行動計画」は、国の法律(次世代法)にもとづいて、各自治体が定めることを義務づけた「行動計画」です。その目的は、これ以上「少子化」が進行すると日本の人口がへり、人口減の国となって、深刻な状況になるからです。だから国は、「エンゼルプラン」や「新エンゼルプラン」につづき、次世代法を制定したのです。</p> <p>素案の第2章には、「世帯あたりの子どもの数」と、「合計特殊出生率」は、「全国より低くなっています」とあります。このことは、練馬区の前期計画の5年の実践によっても、子どもの減少傾向から少子化を食い止める根本的な転換がなされていないことを示しています。なぜ、「前期計画」の実践によっても、少子化傾向から増加へ転換できなかったのか。素案には、その総括がありません。総括を明記する必要があります。</p>	<p>次世代育成支援行動計画は平成17年度からの10年間の取組であり、前期計画(平成17年度～21年度)の計画期間の終了にともない、引き続き後期計画(平成22年度～26年度)を策定します。行動計画の総括については、全計画期間が終了した段階で行ってまいります。</p>
8	<p>少子化からの転換ができなかったのだから「計画」の構成を根本的に改めるべき</p> <p>素案は「前期計画」とほぼ同じ構成(多少入れかえただけの章建て構成)になっています。「前期計画」によって、少子化傾向を根本的に転換できなかったのであれば、「後期計画」は「前期計画」の構成をそのまま引き継ぐことをあらため、どうしたら少子化傾向から増加へ転換できるか、そのことを正面に据えた「計画」づくりが必要です。そこでは「前期計画」と同じ構成ではなく、発想の根本的転換が必要です。構成から根本的に改める必要があります。</p>	<p>練馬区次世代育成支援行動計画は平成17年度から10年間で取り組むものであり、区民の理解と協力を得ながら引き続き次世代育成支援を推進していくためには、6つの基本目標ごとに体系化されているため、その目標ごとの評価もしやすい行動計画の構成を変える必要はないと考えます。</p>

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
9	<p>考え方の基調に子どもの権利条約と世界の認識の到達点を反映すべき  「後期計画」作りにあたっての考え方の基調に、子どもの最善の利益をうたった「子どもの権利条約」のことを明確に示す必要があります。「前期計画」を発表して以降、国連子ども権利委員会は、乳幼児の意見表明権についてなど、付帯意見を発表しています。子どもに対する視点や子育てに関する国際的な到達点、この5年の間にすすんでいます。こうした子どもの見方についての世界的到達点にたった「後期計画」が必要です。</p>	<p>子ども議会、教育の各施策、児童虐待防止に子どもの権利条約の趣旨を記載しております。また、近年子どもの権利の中で注目されている乳幼児の意見表明権を保障するためには、子どもの意見・気持ちに耳を傾ける大人の能力など育てる力の養成も必要となってきます。後期計画においては、子育て支援啓発講座や心の相談事業などを通じて親の育てる力を応援していきます。</p>
10	<p>日本で、少子化傾向を克服した先行自治体から学ぶ  「前期計画」発表以降、全国の自治体のなかには、厚生労働省が「先行自治体」と呼ぶ、「少子化」傾向を克服した自治体があります。素案には、こうした先行自治体から学ぶ姿勢や文言がありません。先行自治体ではなぜ少子化を食い止めているか。また、研究者による研究もありますが、そうした研究成果をとり入れた形跡もありません。日本の全国自治体の教訓をふまえ、また研究成果をふまえての計画づくりが必要です。</p>	<p>区は社会経済状況や区民ニーズの分析に基づいて行動計画を策定していますが、他の自治体の取組事例なども参考にしています。</p>
11	<p>地方自治体の条例や独自の計画より国の法律を考え方の基本に据えるべき  素案についての説明会で、担当の課長は、練馬区には、「第2次民営化計画」があること強調していました。国の次世代法で示された「次世代行動計画」は、いかにしたら少子化から人口増加に転換できるか、それを自治体でも考え、次世代をどう育成するかを示すことを求めた「行動計画」です。それは練馬の「第2次民営化計画」に従属されるものではなく、ありません。国の法律の趣旨をふまえての計画づくりが必要です。</p>	<p>練馬区次世代育成支援行動計画の策定にあたりましては、「次世代育成支援対策推進法」、それを具体化した行動計画策定指針、策定の手引きをもとにして、市区町村行動計画に関わる分野について本区で実施するものを施策として取り込んでいます。「練馬区次世代育成支援行動計画」も「第二次委託化・民営化計画」もそれぞれ区の施策を方向づける重要な計画であることは言うまでもありません。なお、本区で地方自治法に基づき策定中の基本構想および長期計画は、自治体の上位計画であり、本計画はそれを具体化する位置づけになっています。</p>

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
12	<p>「練馬区次世代育成支援推進協議会」での議事録を読んで作成すべき</p> <p>「前期計画」期間中においても開催されてきた「練馬区次世代育成支援推進協議会」は、国の法律にもとづいて開催されてきた協議会であり、そのメンバーは区長から委嘱をうけて議論してきました。「前期計画」の5年の間にも、この協議会は開催されてきていて、そこでの議論は議事録になっています。素案はこの「前期計画」の間にかわされてきた協議会での一致した意見が反映されていません。「前期計画」期間中に、次世代協議会で論議されたことを十分ふまえて、「後期計画」をつくる必要があります。そのことは、2008年3月の協議会の場で、当時の児童青少年部が協議会委員に約束したことであります。</p>	<p>これまで協議会でいただいたご意見のうち、保育所定員の拡大や学童クラブの利用時間の延長、障害児受入れ枠の拡大などのご意見はその趣旨を行動計画に取り込んでいます。</p>
13	<p>素案づくりに外部委託した委託料はいくらですか。</p> <p>なぜ、協議会で議論されたことが反映されていないのでしょうか。その理由を区民に公表する必要があります。こんどの素案づくりには、アンケート調査の段階から、外部の調査会社にいたくされたことを担当の課長から聞きました。財政難を理由に子どもの施策を削っておきながら、この素案づくりにどれほどのお金を委託事業者の支払ったのでしょうか。「計画」作りにおいてどれだけの委託料を払ったのか、その金額を区民に公表する必要があります。自治体によっては、前期計画のときも、市民参加で「計画」を作成し、安い費用でかつ市民参加だからこそ市民の声がよく反映した「計画」を作成した自治体もあります。そうした先行自治体の見習って「後期計画」をつくる必要があります。</p>	<p>行動計画については、限られた人員で計画を策定する必要があることから、アンケート調査において、区は対象者の抽出、アンケート調査票の原稿作成、ニーズ調査報告書の原稿の校正や確認などを行い、コンサルタント事業者にはアンケート調査票の印刷、対象者への発送、回収、集計、ニーズ調査報告書の原稿作成、印刷製本などを委託しました。計画の策定において、区は現況の分析や課題の抽出、行動計画の基本目標の策定、取りまとめを行い、コンサルタント事業者には情報の収集、資料や原稿の作成、計画書の印刷製本などを委託しています。これらに係る委託料は約1400万円です。</p>

番号	意見内容	考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>…既に記載があるもの</li> <li>…趣旨を計画に反映するもの</li> <li>…趣旨について今後検討していくもの</li> <li>…その他</li> </ul>
14	<p>区民の教訓的などりくみの事例は豊かに紹介を</p> <p>「前期計画」には、区民のとりにくんでいる子育てにかんするNPOの活動紹介などが記載されていません。この紹介記事があることは、次世代協議会でも積極的に評価されています。「前期計画」のなかで、次世代協議会のなかで評価されたことについては、発展的に記載する必要があります。協議委員の共通する意見・一致した意見を「計画」に反映させる必要があります。</p>	<p>民間子育てのひろばやホールヘルプ事業など、NPOや区民の特色のある活動、取組については「子どもと子育てに関する情報の一元的な発信」や「(仮称)すくすくナビゲーター事業」などで紹介していきます。</p>
15	<p>保育園の関係者による「行動計画」への意見を聞く場の設定を</p> <p>「前期計画」のなかで、区民の間で、また次世代育成協議会の議論のなかで、一番議論になったのは保育園のこどもたちのことです。「後期計画」づくりに、保育園関係者(保護者、園長、保育士など)による、計画づくりにみけての意見を反映させる場所を設ける必要があります。このことについて、計画調整担当課の前任の課長は「検討する」と回答していました。これまでの、保育園保護者と児童青少年部・計画調整担当課との議論からいっても「保育園関係の意見・声を聞く場」を設け、「後期計画」作りを行う必要があります。</p>	<p>練馬区では、次世代育成支援行動計画(平成22年度～26年度)の基礎資料とするために実施したニーズ調査において、就学前児童の保護者や保育所を含む各子育て関係施設従事者を対象とした調査を行いました。この中で、計画策定に参考となる保育所を利用している保護者や保育所の従事者の意識や意向を把握しました。</p>

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
- 2 子育て家庭の交流の促進		
16	子育てしやすい社会を築くには、インフォーマルな子育て支援のネットワークが重要で、これは自宅近隣の公園や子育てひろば、児童館などの場を通じて形成されるものですが、もっとも大きな役割を果たしているのは保育園や幼稚園です。そこで、次の3点について検討し、計画に反映することを要望します。	1 練馬区次世代育成支援行動計画(素案)におきましても、「保育所・幼稚園における子育て家庭の交流の促進」において、ふれあい給食や遊びの事業などを実施し子育て家庭の交流を図るとともに、子育て家庭を支援することとしております。今後も園児・保護者への支援とともに地域の子育て家庭に対する支援を行ってまいります。
17	1 地域に対して保育園と幼稚園のそれぞれが果たしている役割を検証した上で、それらの役割を今後どのように強化していくのか方向性を打ち出すこと	1 現在、練馬区には区立幼稚園5園、私立幼稚園42園があります。幼稚園が地域に果たしている役割について、検証・検討することも考えて、各園の現状を踏まえ、また私立幼稚園についてはその独自性も尊重しながら、今後も各幼稚園間との情報交換を進めていきたいと考えております。
18	2 地域子育てコミュニティの形成の観点からも幼保一体化する効果を分析して明記するとともに、公私を問わず既存施設も含めて認定こども園化を積極的に推進すること 3 すべての保育園(特に公立)で0歳児保育や1時間程度の延長保育は最低限実施し、保護者が身近な地域の保育所を選択できる環境を整備することで、保育園・保護者・地域の相互交流を促進すること	2 区内の認定子ども園は、平成20年度、21年度にそれぞれ開園した2園(幼稚園型)があります。区は幼保連携を推進する必要性を認識しており、既に預かり保育を実施している私立幼稚園の認定こども園への移行を積極的に進めてまいります。また、各幼稚園との情報交換をしながら、認定こども園の開園に取り組んでいきます。
19		3 全ての区立保育所において0歳児保育、延長保育を実施することは多額の経費を要することから困難です。新設する私立保育所および委託化する区立保育所において延長保育等の充実を図ってまいります。
- 3 子育て家庭を地域で支える仕組みづくり		
20	急速な少子高齢化と低成長時代に入ったため、相対的に高齢者に財が傾斜しているのが現状と思います。各自治体の予算も高齢者への負担が大きいと思います。ついては、できるだけ高齢者は我慢し、次世代に廻すべきだと思います。また、高齢者のパワーを次世代のために活用すべきだと思います。	急速に進む少子高齢化の進展に伴い、少子化対策および高齢社会対策は、ともに区の重要な課題であります。区では、高齢社会対策において、高齢者の健康づくりや介護予防等を推進することで、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、様々な施策を展開しており、「いきいき健康券」もその一環として実施しているものであります。また、高齢者の力を地域に活かす取組みを進めていく中で、次世代のために活用することも検討してまいります。

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
- 4 保育サービスの充実		
21	<p>保育所の安易な民間委託を示す文書は削除すべき 素案には、「4 保育サービスの充実」の箇所の「施策の方向」として、「これらの様々な保育サービスを、限られた財源の中で充実していくために、区立保育所の運営業務委託効率的で効果的な事業展開を図っていきます」とあります。少子化から増加に根本的に転換するためには、公的な責任で施策をすすめる必要があります。したがって、安易な「区立保育所の運営業務委託」という表現は改めるべきです。素案にある「区立保育所の運営業務委託効率的で効果的な事業展開を図っていきます」の文言を削除すべきです。</p>	<p>区では「第二次委託化・民営化計画」に基づき保育所の平成28年度までの委託計画を策定しており、民間委託に取り組んでまいります。限られた財源の中で、保育所受入れ枠の拡大、保育時間の延長など保育サービスを充実していくためには、区立保育所の運営業務の民間委託などにより、効率的で効果的な事業展開を図っていく必要があります。</p>
- 4 - 7 病児・病後児保育		
22	<p>子どもが病気になった時、会社を休まずに対応できる十分な保育施設が整っていないと、就業しても退職せざるを得ない状況になることは多々あると思います。安心して働けるよう、病児保育・病後児保育の増設を希望します。また、石神井公園に設置することをご検討いただけますようお願い申し上げます。</p>	<p>地域バランスと利便性に配慮し、大泉・石神井地区の駅至近に5箇所目の整備を図ってまいります。また、医療機関連携型の施設につきましては、病児にも対応できるように図ってまいります。</p>
- 5 児童館、地区区民館、厚生文化会館、学童クラブ事業等の充実		
23	<p>学童クラブの安易な民間委託を示す文言は削除すべき 6に関連して、38ページにある、学童クラブにかかわる箇所の文に、「区民や民間との協働による効果的・効率的な児童館、学童クラブ等の運営をめざして、委託化などをすすめるとともに」という箇所があります。この文言についても、行政による公的責任を明確にして、安易な委託をさける必要があります。「委託化などを進めるとともに」の文言を削除すべきです。</p>	<p>学童保育の受入れ人員の拡大を図り、保育時間の延長、障害児受入れ枠の拡大などの要望の強いサービスを充実していくためには、運営業務の委託化などにより、効率的で効果的な事業展開を図っていく必要があります。区は学童クラブのサービスの充実のため運営業務の民間委託化を区の責任で進めており、安易に民間委託を進めているものではありません。</p>

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
- 6 - 16 外遊びの場の提供事業		
24	<p>子どもの年齢が上がるごとに、外遊びが必要なのに行政支援がどんどん薄くなるように思えます。吉祥寺に近い場所に住んでいて、息子たちは立野公園のプレーパークで遊んでいます。月に一回の開催ですが、もっと増やしてほしいです。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>
25	<p>次世代育成計画にある、「子どもの外遊び場事業」に予算がつかない、という話を聞きました。          特に光が丘公園で開催されている冒険遊び場は、ここに通う親たちにとって、必要度の高い存在になっています。ただ、資金面で困っているため、来年度以降の開催が、難しい状況になっているようです。          次世代育成計画にあるのに、初年度予算を全くつけないのは、練馬区は子どもの健やかな育ちに興味がないのかとも思えます。外遊びの機会を奪われた子どもたちの、体力低下などは危機的状況というデータを見たこともあります。子どもの日常に根差した、豊かな外遊びの場を提供する事業に予算を付けてくださるようお願いします。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えております。22年度は事業のあり方や内容について詳細を検討し、23年度に実施していく予定です。検討に当たっては既存の冒険遊び場などを参考にさせていただきたいと考えています。なお、光が丘公園で開催されている冒険遊び場が資金面で困っているという点については、「子どもゆめ基金」の廃止に関するものではないかと思いますが、この基金は来年度も継続すると聞いています。</p>
26	<p>立野公園で、月1回開かれているプレーパークを、子どもがとても楽しんでいます。聞くところによれば、練馬区からの補助も受けているとのこと。このまま開催を続けてほしいと思うので、ぜひ、区での支援をお願いしたいと思います。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、公園や遊び場で独自に活動する団体への助成は行っていませんので、来年度、立野公園のプレーパークに助成を行うことは困難です。</p>
27	<p>0歳と2歳の子どもがいる母親です。プレーパークに行き始めるまでは、子どもをどうやって遊ばせるか、一日どうやって過ごすかが毎日頭の痛い問題でした。今は、子どもたちもプレーパークで過ごすことで満足していますし、私の気持ちも以前より落ち着きました。来年度はプレーパークを開催できるかどうか、分らないと聞きました。区として、外遊びの事業を押し進めてください。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、ご意見の中で開催できるかどうかかわからない点につきましては、「子どもゆめ基金」の件に関するものと思いますが、来年度もこの基金は継続すると聞いています。</p>



番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
28	<p>光が丘公園のプレーパークに参加しているのですが、来年度の予算からプレーパークへの補助が無くなるらしいと聞き、びっくりしました。こんなに子どものためになる活動に区は支援をやめてしまうのですか？区からの援助なしでは、この意欲が無いとできないすばらしい活動の火が消えてしまいかねません。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、ご意見の中で開催できるかどうかかわからない点につきましては、「子どもゆめ基金」の件に関するものと思っておりますが、来年度もこの基金は継続すると聞いています。</p>
29	<p>二人の子育てをしている主婦です。子育てをしている中で、練馬区は子どもたちが思いっきり外で遊ぶことのできる場がとても少ないと思います。そんな環境の中、子どもたちだけでなく、子育て中の母親にとってもなくてはならない場所だと思います。子ども達が生きていく力を養う上で、「外遊び」は重要な経験です。ぜひ、地元で子どもたちのために開催されているプレーパークに区の事業として予算をつけていただきたいと思います。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>
30	<p>毎月1回開催されているプレーパークを利用しています。乳児の親子連れから小学生まで多くの人たちが参加しています。安心して外遊びが出来る場所を作ってあげることこそ、未来を担う子どもたちには重要なことだと思います。ぜひ取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>
31	<p>プレーパークでは、父母たちが共に、一から体験して子どもたちと遊びこむ光景があちこちで見られます。ところが、細々と始められたこの活動が徐々に大きくなり、住民にも広まってきた今、また新たな試練の時を迎えているように思われます。それは、資金源となっていた、独立行政法人等の見通しが、行政仕訳で危うくなってきたことです。この活動の芽が潰れないように援助をしていただきたいと思います。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、児童館職員などをはじめ、関係者との連携をしながら、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>
32	<p>内容に「NPO等民間活動団体との協働により、子どもたちが生きる力をはぐくむための遊びの場として、幅広い年齢層を対象に、実体験を積み重ねることのできる外遊びの場を開設します。」とありました。練馬区にもプレーパークのような場所が増えると嬉しいですし、子どもたちの遊びを大切に考え、プレーパークのような外遊びの場を区が開設してほしいと思います。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
33	<p>次世代の子育ちを応援するのであれば、外遊び事業にも力を入れてほしいです。プレーパーク冒険遊び場が国の事業仕分けによって予算廃止されてしまい、来年度より存続が危ぶまれています。児童館や公園が沢山出来ても、意味がないと思います。練馬区の力で冒険遊び場を存続させて下さい。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、ご意見の中で予算廃止という点につきましては、「子どもゆめ基金」の件に関するものと思いますが、来年度もこの基金は継続すると聞いています。</p>
34	<p>次世代育成計画の中に外遊び事業が入っていて、大いに期待しています。小学校にあがると「子どもたちが自分たちで安心安全にのびのびと遊ぶ場所がない」と感じます。子どもの年齢が上がるごとに、外遊びが必要なのに行政支援がどんどん薄くなるように思えます。もっと増やしてほしいです。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>
35	<p>外遊び事業ということで、プレーパークという事業をやっていて、大変うちの子も世話になっています。まさに外遊びのひとつの完成形があると思いました。ぜひ練馬区で助成をし、ぜひ育てて下さい。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、公園や遊び場で独自に活動する団体への助成は行っていませんので、来年度、プレーパークに助成を行うことは困難です。</p>
36	<p>子育て中の母親です。子どもも、大好きで、わたしの、子育ての憩いの場で、ある、光が丘のプレーパークが、来年度も開催できるよう、予算をつけてください。よろしくおねがいします。そして、毎年、安心して、開催できるよう、継続的な支援をおねがいします。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、公園や遊び場で独自に活動する団体への助成は行っていませんので、来年度、プレーパークに助成を行うことは困難です。</p>
37	<p>外遊び事業として是非ともプレーパークをやっていただきたいと思います。私の子どもは男の子で家の中でじっとしてられない子でしたので、あそこでの様々な遊びの体験は実に有意義でしたし、親の私もストレスなくいられました。プレーパークは何の制限もなく自由に、子ども自身が自然と学んでいけるとても貴重な場所です。この点理解していただきぜひとも練馬区にたくさんのプレーパークを作ってください。</p>	<p>外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。</p>

番号	意見内容	考え方 …既に記載があるもの …趣旨を計画に反映するもの …趣旨について今後検討していくもの …その他
38	外遊び事業について具体的なことがなにもかいていないのですが、是非、「プレーパーク」に予算をつけてください。近所の公園には、子どもがのびのびと走りまわれる公園は少ないです。プレーパークを存続させてください。	外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。
39	ゆめ基金の廃止により来年度からプレーパークがなくなる危機だと聞きコメントさせて頂きます！プレーパークに通っている4歳と0歳の母ですが、どこよりも親子がいきいきとして楽しめる場所をなくされてしまうのは困ります。育児ストレスどころかプレーパークのお陰で育児がとても楽しいです！この場所が継続されるように、お力添え下さい。	外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、ご意見の中の「子どもゆめ基金」につきましては、来年度も継続すると聞いています。
40	乳幼児を子育て中の母親です。来春以降プレーパークが無くなると聞きメールしました。子どもたちや親たちがのびのび遊べず窮屈な育児を強いられているのは育児の責任を母親(父親)に押し付けて1対1の育児に追いやったのは地域や行政のせいではないでしょうか？思いきりやりたいことが出来る子どもたちの遊び場を残すために力を貸して下さい。	外遊びは、様々な実体験を積み重ねることによって、子どもの生きる力を育むことなどの効果が高いと考えており、詳細を検討していく予定です。現在、活動されているプレーパークなども参考にさせていただきたいと考えています。なお、ご意見にある「プレーパークへの補助が無くなる」というのは、区からの補助金ではなく「子どもゆめ基金」に関するものと思われませんが、来年度も「子どもゆめ基金」は継続すると聞いています。
子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します		
41	子どもの教育については、将来、社会人として活躍できる人材の育成をめざし、重点をおいて取組んで欲しい。そのため、「練馬方式」といわれるような特色のある教育内容を構築してもらいたいと思います。(素案の少人数指導等は賛成ですが)基礎教育を重視して欲しいと思う。	教育内容につきましては学習指導要領に基づき、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を図ってまいります。